

「保育者の自己評価のためのチェックリスト」

社会福祉法人あきら会姫宮保育園

○ABCの評価については、以下の基準のとおりです。
設問ごとに「できている～ほぼできている」と回答した割合が90%以上…A
80%以上…B
79%以下…C

第1章 総則

1、教育及び保育の基本と目標

	設問	評価
1	児童福祉法等、保育所に関する法令を読み、その内容を理解しようと努めていますか。	B
2	「保育所保育指針」を読み、その内容を理解しようと努めていますか。	B
3	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解していますか。	A

2、特に配慮すべき項目

(1)教育及び保育の配慮

	設問	評価
4	登園時、子どもの健康観察を行っていますか。	A
5	子ども一人一人に、分かりやすい温かな言葉で穏やかに話しかけていますか。	A
6	泣いたり、顔色がすぐれない等、いつもと違う様子の子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまったたりすることがないようにしていますか。	A

(2)健康・安全支援

	設問	評価
7	園内で感染症が発生したとき、発生状況や予防対策などを保護者に知らせていますか。	B
8	子どもの体調が悪くなったときに、保護者と連絡を取ったり、十分に様子を伝えたりするよう心がけていますか。	A
9	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか。	A
10	園生活での活動・発達の状況や家庭での十分な睡眠や健康的な生活リズムが身につくよう、保護者との連携に努めていますか。	B
11	災害時や不審者が園内に侵入した際、どのように対応するのかを理解していますか。また、職員間で連携が取れるように話し合っていますか。	A
12	災害時に使用する器具や設備(消火器や通報機器等)などの場所や使用方法を知っていますか。	A

(3)食育

	設問	評価
13	子どもが無理なく、楽しく食事ができるように声かけや援助をしていますか。	A

14	その日の昼食の食べ具合などを必要に応じて保護者に知らせていますか。	A
----	-----------------------------------	---

(4)障がい児保育 ※該当クラス担当のみ回答

	設問	評価
15	障がいのある子どもの保育について、職員間で情報交換や話し合いの機会を持ったり、子どもに合わせた個別支援計画を立てていますか。	A
16	療育・医療機関などの専門機関から、必要に応じて助言を求めたり受けたりしていますか。(保護者を通しても含む)	A
17	障がいのある子どもの保護者と日常的に話をする機会を設け、情報共有をしたり信頼関係の構築に努めたりしていますか。	A

第2章 子どもの発達

	設問	評価
18	子どもの発達は豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか。	A
19	子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して、保育をしていますか。	A
20	子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか。	A
21	子どもどうしでお互いの良さを感じ取れるように保育の配慮をしていますか。	A
22	園の生活になじみにくい子どもに対して、一人一人に応じた適切な援助及び環境構成を行っていますか。	A

第3章 「ねらい」及び「内容」

1、保育内容「健康」

	設問	評価
23	一人一人の子どもが明るくのびのび遊べるよう、いつも見守っていますか。	A
24	健康的な生活リズムを身につけるよう、1日の保育の時間配分をしたり、家庭との連携を取ったりしていますか。	B
25	食事の前や排せつ後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身につくように保育していますか。	A
26	生活に必要な習慣が身につくよう、必要に応じて家庭との連携に努めていますか。	A

2、保育内容「人間関係」

	設問	評価
27	自分のことは自分でしようとする意欲を持てるよう、励ましたり見守ったりしていますか。また、達成感を味わえるように配慮していますか。	A
28	友だちと積極的に関わりながら遊び、喜びや悲しみなどを共感する機会を大切にしていますか。	A
29	良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動できるように援助していますか。	A

3、保育内容「環境」

	設問	評価
30	子どもが自然に観察したり触れたりする中で、その大きさ、楽しさ、不思議さなどに気づくように援助していますか。	A
31	園生活の中で、自然や身近な事象に関心を持つことができるように、環境や言葉がけを工夫していますか。	A
32	生活の中で数を数えたり、形を意識したりするなど、工夫して保育していますか。	A

4、保育内容「言葉」

	設問	評価
33	子どもの発達や理解力、生活体験に合わせた言葉で保育していますか。	A
34	ゆったりと子どもの言葉を聞き応答するなど、子どもが分からないことを尋ねたりしやすい雰囲気作りをしていますか。	A
35	挨拶や「貸して」「いいよ」など、生活の中で必要な言葉を知らせ、その言葉を理解して使うことができるように、配慮していますか。	A
36	紙芝居や絵本、素話などを通して、物語の楽しさや言葉の面白さに気づくよう心がけていますか。	A

5、保育内容「表現」

	設問	評価
37	歌ったり踊ったりして、表現の楽しさに気づくように援助していますか。	A
38	感動したことなどを伝え合ったり、思いを豊かに表現できるよう援助したりしていますか。	A
39	子どもたちが様々な音に触れ合う機会をつくり、音楽に親しみをもち楽しめるように工夫していますか。	B
40	自分のイメージを言葉や体の動きなどで表現したり、ごっこ遊びなどを楽しんだりできるよう援助していますか。	A

第4章 保育の実施上の配慮事項

	設問	評価
41	保育者として服装や身支度などに配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていますか。	A
42	発育及び発達の状態をよく把握した上で、常に体の状態を細かく観察していますか。	A
43	おむつを交換をする際は、丁寧に手洗いをしていますか。	A
44	一人一人の子どもの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、環境を整えていますか。	A
45	床に誤飲しそうなものが落ちていないよう、十分注意を払っていますか。	A

46	リズムを伴った触れ合い遊びを十分に取り入れたり、戸外遊びなどを通して身体を適度に動かす遊びを楽しめるようにしていますか。	A
47	子どもの健康状態の急変に対応できるよう、日頃から看護師や職員間で連携が取れていますか。	A
48	基本的な生活習慣の習得については、子ども一人一人の発達過程に合わせ、無理なく行っていますか。	A
49	子どもの手の届く範囲にあるものの安全性について、日頃から確認していますか。	A
50	自分でやり遂げる喜びを感じたり、自信を持ったりできるよう、配慮していますか。	A
51	進級などで保育者がかわる場合は、子どもが不安にならないように職員間で情報共有を十分にしていますか。	A

第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項 ※担任のみ回答

	設問	評価
52	指導計画は、「保育過程」や「全体計画」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に基づいて作成していますか。	A
53	指導計画には、保育の期間や子どもの生活経験、発達の過程などを考慮して具体的なねらいと内容が設定されていますか。	A
54	子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画に書き込まれていますか。	A
55	入所時期には、生活のリズムや安全性に十分配慮して、指導計画を作成していますか。	A
56	子ども一人一人の発達を理解し、指導計画に活かせるよう、日々の保育記録を取っていますか。	A
57	子どもが楽しく食事できるように、食育の計画を作成していますか。	A
58	保育の内容は、子どもの発達過程に合った活動や体験であると説明できますか。	A

第6章 研修と自己評価

	設問	評価
59	園の保育方針や保育目標を理解していますか。	A
60	自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決のために園の内外における研修に積極的に参加したり、本などで情報や知識を得ようとしていますか。	A

第7章 子育て支援

	設問	評価
61	子育ての悩み等を安心して話せるように、送迎時に言葉を交わしたり、なかなか会えない保護者に対しては、連絡帳などで情報交換をしたりするようにしていますか。	A
62	保護者からの相談内容などをあなた一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか。	A

63	地域の家庭を対象とする相談や遊び場の提供など(支援センターや一時保育事業等)、子育て支援のための園の取り組みを理解していますか。	A
64	一人一人の子どもについて、虐待を見抜くことができるように配慮していますか。	B